

セミナー開催

だれひとり取り残されない 外国人医療

ことばや文化の違いがあっても、安心して医療に繋がれる社会



開催概要

日時 2026年 2月 7日(土) 15:00~16:00

場所 梅田スカイビル・タワーウエスト 22 階 B 会議室
(大阪市北区大淀中 1-1-88 タワーウエスト 22 階)

参加費 無料 どなたでもご参加できます

登壇団体



主催



公益社団法人 日本 WHO 協会
FRIENDS OF WHO JAPAN

詳しくは



セミナープログラム

- 15:00** | **開会のあいさつ**
中村 安秀 氏（公益社団法人日本WHO協会 理事長）
- 15:05** | **講演1**
休眠預金活用事業「だれひとり取り残されない外国人医療」
中田 大三 氏（公益社団法人日本WHO協会 プログラム・オフィサー）
- 15:15** | **講演2**
外国語でアクセスできる多言語医療情報ウェブサイト構築事業
青木 智博 氏（特定非営利活動法人多言語センターFACIL）
- 15:25** | **講演3**
外国籍コミュニティを巻き込んだ保健・医療支援ネットワークの構築
竹野 翠 氏（特定非営利活動法人 チャーム）
- 15:35** | **講演4**
多文化対応研修とヘルスボランティアで築く共生医療体制整備プロジェクト
鳥越 友月 氏（特定非営利活動法人 まなびと）
- 15:45** | **質疑応答**

ABOUT

日本WHO協会は日本民間公益活動連携機構（JANPIA）の休眠預金等活用法に基づく資金分配団体として、「だれひとり取り残されない外国人医療」事業を実施しています。当協会の公募により採択した実行団体と協働し、医療機関や医療関係者がより適切な外国人医療を提供し、外国人が安心して保健医療サービスが受けられる環境の整備をめざします。

団体紹介

多言語センターFACIL

地域住民である外国人が必要とする情報の翻訳、生活現場で必要な通訳者の派遣など、地域の多言語環境を促進し、また外国人を含む地域の住民や行政機関、医療機関、地域の企業などからの多言語・多文化ニーズに様々な形で応えている団体です。



まなびと

兵庫県神戸市を拠点に、青少年の居場所づくり・まなびの場づくり事業、在住外国人の社会参画促進事業、多文化共生理解促進事業、地域コミュニティづくり支援事業などを行っている団体です。



チャーム

国籍、言語、セクシャリティーや疾患の有無に関わらず人が尊重され、その人がその人らしく暮らしていくことができる社会を目指しています。言葉が壁となって制度や医療にアクセスできない状況を変えていくために、疾患とともに生きる人びとや外国籍住民、医療機関、保健所、さまざまな市民団体と協働している団体です。

